

平成二十七年 推薦入学者選考試験・小論文(80分間)

一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

じぶんの身体というものは、だれもがじぶんのもっとも近くにあるものだと思っています。たとえば包丁で切った傷の痛みはわたしだけが感じるもので、他人は頭でわかっても、わたしの代わりに痛んでくれるわけではありません。その意味で、わたしはわたしの身体であると言いうるほどに、わたしはまちがいなくわたしの身体に近くにありそうです。

よく考えてみると、①わたしがじぶんの身体についてもっている情報は、ふつう想像しているよりもはるかに貧弱なものです。たとえば身体の全表面のうちでもじぶんで見えるところというのは、身体の前面のごく一部に限られています。だれもじぶんの背中や後頭部をじかに見たことはありません。それどころか、他のひとたちが、このわたしをへわたしとして認知してくれるその顔は、じぶんでは終生、じかに見る事ができないのです。ところがこの顔にこそ、じぶんではコントロール不可能な感情や気分が露出してしまいます。なんとも無防備なことです。

それだけではありません。身体の内部となると、これはレントゲンや超音波撮影機や体内カメラといった高度な技術を使わないと、ぜったいに見ることはできません。身体の中で起こっている細かいことは、じぶんではぜんぜん②わからないのです。じぶんのなかからふつと湧きあがってくるbヨクボウや感情、これもわたしたちはなかなかうまく③コントロールできません。痛みや病いという現象も、わたしたちには不意を襲うようなかたちでやってきます。それにたいして、わたしたちはただいつも襲われがままであるしかないのです。身体とはわたしたちにとってまず是不安の滲み出てくる場所であるようです。わたしたちの身体は、知覚情報もc乏しいし、思うがままに統制もできないという意味では、へわたしから想像以上に遠く隔たつたものようです。

他人の身体ならわたしたちはそれを一つの物体として、他の物体のように見たり触れたりできるのですが、ほかならぬこのわたしの身体は、じぶんではいざどこかたよりないイメージとして所有することしかできないのです。わたしたちはじぶん自身の身体を、いわば④目隠ししたままで経験するしかないわけです。これは考えてみれば、物騒な事実です。フリードリヒ・ニーチェという哲学者は、その著書のなかで、「各人にとってはdジコ自身がもっとも遠い者である」という、ドイツの古い諺を紹介していますが、⑤身体についてもまったく同じことが言えそうです。

じぶんの身体はつねにイメージとして思い描くしかない。身体はこのように情報量の少ない、ぼんやりとした(像)であり、想像の産物でしかないのです、かんたんに揺らいでしまいます。とてももろいものなのです。そしてこのようなもろい身体イメージを補強するために、私たちは日常生活のなかで色々な技法を編みだしてきたのです。

(鷺田清一「ひとはなぜ服を着るのか」による)

1 二重傍線部 a～d について、漢字は読み仮名をひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

2 空欄 に入ることはとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア だから イ そして ウ ところが エ さて

3 傍線部①「わたしがじぶんの身体についてもっている情報は、ふつう想像しているものよりもはるかに貧弱なものです。」とあるが、その例として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア じぶんで見ることのできる身体の部分は、ごく一部に限られている。

イ 包丁で切った傷の痛みは、じぶんだけが感じて、他人にはわからない。

ウ 他のひとがこのじぶんを認知してくれる顔を、じぶんではじかに見られない。

エ 身体の内部は高度な技術なしには見られず、内部で起っていることは、じぶんではわからない。

4 傍線部②「わからない」③「コントロールでき」ないということから、わたしたちの身体は、どんな感情と結び付かざるを

えないのか。文章中から二字で抜き出して答えなさい。

5 傍線部④「目隠したまま経験するしかない」とは、どういうことか、説明している部分を同じ段落から二十七字で抜き出し、初めと終わりの四字で答えなさい。

6 傍線部⑤「身体についてもまったく同じことが言えそうです」とあるが、文章中のドイツの諺をふまえた形でいうと、身体はどのようなものだとと言えるのか。文章中から二十字で抜き出して答えなさい。(句読点も一字と数える)

二 次の電話による会話の一部を読んで、後の各問に答えなさい。

鈴木 長らくごぶさたしておりますが、武男先生は か。

太郎 はい、元気しております。

鈴木 そうですか。それをうかがって安心しました。ところで、先生はご在宅でしょうか。

太郎 あいにく、今日は出かけております。

鈴木 そうですか。実は、近いうちに先生のご退職をお祝いする会を開く予定であります。つきましては、先生にぜひご出席していただきたいと思っておりますので、よろしくお伝えください、くわしいことは、のちほどもう一度お電話をさしあげたいと思います。

太郎 はい、わかりました。確かに に伝えます。

1 文章中の空欄Aに入る言葉を十五字以内で答えなさい。ただし、「元気」と「いる」を用い、それを敬意を表す言い方に直して答えること。

2 傍線部「もらいたい」を適切な表現に直しなさい。

3 太郎は先生の孫に当たる。その関係が分かるように空欄Bに入る最も適切な言葉を答えなさい。

三 次にあげるA・Bの意見のうち、どちらかの立場を選択し、あなたの考えを書きなさい。小論文は後の注意に従って書くこと。

「意見A」 古いものより、新しいものの方がよい。

「意見B」 新しいものより、古いものの方がよい。

(注意)

1 選択した意見の記号を初めに書く。

2 あなたの考えについて、具体的な例や経験を含めて書くこと。

小論文解答用紙

意見

[Blank box for opinion]

AかBを記入する。

ここに受験番号・氏名を記入すること。

受験番号	
受験者氏名	

[Main writing area consisting of 20 vertical columns and 25 rows of a grid for writing the answer.]

[Blank box for marking]

受験者
は記入
しない

受験番号	受験者氏名

6	5	2	1
へ	ど	ア	a
わ	ニ		b
た	か	イ	c
し	た		d
✓	から	ウ	不安
か	で		自己
ら	ま	エ	
相	か		
心	い	オ	
像	ま		
以	まで	カ	
上			
に		ク	
遠			
く		コ	
隔			
た		ク	
つ			
た		ク	
もの			

④×3

④×2

29
20
37

2	1
い	お
た	え
だ	え
ま	気
た	で
い	い
	ら
	っ
	し
	や
	い
	ま
	す

3 祖父

④×3

三 ◎小論文下書き用紙 (解答は別紙小論文用紙に記述すること 下書きは採点の対象としない)

内容	構成	表現
30	18	15
20	15	10

※→受験者は何も記入しない。



部